

《担当者名》 関口 真有 河村 麻果 西郷 達雄

【概要】

対人援助技法は、社会の様々な分野で活用が可能である。臨床心理学科で学んできた基礎的な知識をもとに、個人および集団を対象とした臨床心理学的援助について、体験を通して習得することをめざす。

【学修目標】

心の問題にかかわる職能人として必要な幅広い専門知識を修得しているとする臨床心理学科の学位授与方針に即し、体験的に臨床心理学的援助に関する幅広い専門知識を身につける。

個人および集団を対象とした臨床心理学的援助についての基礎的な知識と技法を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1・2	集団療法とその理論と展開	本演習のガイダンス。集団療法の歴史とその意義について学習する。また、集団療法の理論的背景と科学的知見について学習する。	西郷 達雄
3・4	集団療法の実際	集団療法の運営方法やマナー、留意点などについて学習する。	西郷 達雄
5・6	集団療法の実際	保健医療領域において実践されている集団療法について学習する。	西郷 達雄
7・8	集団療法の実際	福祉領域において実践されている集団療法について学習する。	西郷 達雄
9・10	集団療法の実際	教育領域において実践されている集団療法について学習する。	西郷 達雄
11・12	集団療法の実際	司法矯正領域において実践されている集団療法について学習する。	西郷 達雄
13・14	集団療法の実際	産業領域において実践されている集団療法を体験学習する。	西郷 達雄
15・16	集団療法の実践	その他の領域において実践されている集団療法について学習する。	西郷達雄
17・18	問題解決療法	問題解決療法の基本的発想、意義を学習する。事例や演習を通して、問題解決療法の具体的な進め方、臨床現場での活用方法について体験的に学ぶ。	関口 真有 河村 麻果
19・20	リラクゼーション法	臨床心理学的援助で求められるリラクゼーション法の種類と特徴について学習する。呼吸法、漸進的筋弛緩法の具体的な進め方について体験的に学ぶ。	関口 真有 河村 麻果
21・22	行動変容技法	オペラント条件付けにおける行動変容技法の基本的発想、意義を学習する。事例や演習を通して、行動スケジュール法、強化随伴性と刺激統制法の具体的な進め方、臨床現場での活用方法について学ぶ。	関口 真有 河村 麻果
23・24	小児科・周産期領域における心理的援助の実際	小児科、産婦人科領域での様々な心理的支援について、事例や演習を通して体験的に学ぶ。	関口 真有 河村 麻果
25・26	心身医学的領域における心理的援助の実際	身体疾患領域での心理的支援について学習する。がんや生活習慣病など身体疾患患者への支援について、事例や演習を通して体験的に学ぶ。	関口 真有 河村 麻果
27・28	教育現場における心理的支援の実際	学校をはじめとした教育現場での心理的支援について、事例や演習を通して体験的に学ぶ。	関口 真有 河村 麻果
29・30	医療現場における心理的支援の実際	医療現場、特に総合病院での心理職の役割や多職種連携など、医療現場での心理的支援について、事例や演習を通して体験的に学ぶ。	関口 真有 河村 麻果

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

レポート課題（75%）、演習・発表（25%）を100点満点で評価する。

**【教科書】**

適宜プリントを配布する。

**【参考書】**

授業中に適宜指示する。

**【学修の準備】**

復習：講義で使用した講義資料の内容を復習しておくこと（60分）

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的スキルを修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

公認心理師：関口 真有、河村 麻果、西郷 達雄

**【実務経験を活かした教育内容】**

これまでの保健・医療分野における実務経験に基づき、心理的援助に関する基本的な知識からその応用まで修得できるように講義する。